

野菜の需給・価格動向レポート(平成25年11月18日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格情報			11月の価格情報		生育及び価格の11月の見通し			
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	上旬				
		中旬	下旬						
葉 茎 菜	キャベツ 	74.19	78	96	66.30	89	・入荷見込量: 13,440 (96) ・主産地: 千葉 (43)、愛知 (23)、茨城 (17)、東京 (4)	・千葉産は、順調な出荷で、平年並みの出荷の見込み。愛知産は、夏の高湿、少雨のため根の張りが悪く小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も引き続き少なめの出荷の見込み。茨城産は、出荷のピークを迎え、順調な出荷で、今後も平年並みの出荷の見込み。	
		88.91	85	109	69.92	99	・入荷見込量: 3,500t (96) ・主産地: 愛知 (62)、茨城 (15)、大阪 (7)	・愛知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。	
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ) 	218.22	234	269	218.22	245	・入荷見込数量: 5,640t (97) ・主産地: 青森 (15)、茨城 (14)、新潟 (11)、秋田 (10)、千葉 (7)、群馬 (7)、埼玉 (7)、栃木 (5)、輸入 (4)	・青森産は、最近の降雪の影響も少なく順調な出荷で、今後も平年並みの出荷の見込み。茨城産は、台風の影響から曲りや折れがあるものの、平年並みの出荷で、今後も平年並みの出荷の見込み。	
		444.77	561	535	444.77	614	・入荷見込数量: 180t (86) ・主産地: 香川 (18)、徳島 (16)、大阪 (13)、奈良 (13)、三重 (12)、高知 (10)	・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
	はくさい 	54.1	50	71	36.65	73	・入荷見込量: 12,820t (98) ・主産地: 茨城 (88)	・茨城産は、台風による生育遅れと曇雨天の影響で小玉傾向で少なめの出荷となっており、今後も月末までは少なめの出荷の見込み。	
		69.44	45	77	53.29	86	・入荷見込量4,500t (95) ・主産地: 茨城 (44)、熊本 (16)、大分 (15)、長野 (11)、岡山 (6)	・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
	ほうれんそう 	350.1	482	596	350.1	628	・入荷見込量: 1,570t (98) ・主産地: 群馬 (41)、茨城 (15)、千葉 (13)、埼玉 (10)	・群馬産は、台風等の影響で生育の遅れがみられ、少なめの出荷になっており、今後も少なめの出荷の見込み。茨城産及び埼玉産は、9月の台風の影響で一部蒔き直しをしたこと等から、生育に遅れがあり少なめの出荷の見込み。千葉産も、少なめの出荷となっており、今後は月末にかけて増加が見込まれるものの、平年には届かない見込み。	
		419.76	502	632	419.76	753	・入荷見込量: 650t (115) ・主産地: 岐阜 (32)、福岡 (27)、徳島 (25)、群馬 (7)	・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	レタス (結球) 	158.27	133	153	136.79	199	・入荷見込量: 5,830t (92) ・主産地: 茨城 (69)、兵庫 (10)、香川 (4)	・茨城産は、生育期の降雨と台風で降水量が多い影響で、外葉等に傷み等が発生し、小玉傾向で少なめの出荷となっている。今後は、ピークを過ぎ減少傾向で平年より少なめの出荷の見込み。兵庫産は、気温の低下によりやや少なめの出荷となっているものの、今後は生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。	
		152.57	147	178	147.25	235	・入荷見込量: 1,400t (129) ・主産地: 兵庫 (43)、茨城 (26)、徳島 (17)、香川 (11)	・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	たまねぎ 	76.15	100	102	76.15	106	・入荷見込量: 10,310t (94) ・主産地: 北海道 (88)、輸入 (9)	・北海道産は、収穫は終了し、今後は計画的な出荷となるが、生育期の少雨等の影響で全体的に小玉傾向で、平年を下回る出荷となる見込み。	
		76.15	106	113	76.15	117	・入荷見込量: 3,400t (77) ・主産地: 北海道 (82)、兵庫 (17)	・北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
果 菜	きゅうり 	262.75	247	459	262.75	543	・入荷見込量: 4,650t (97) ・主産地: 埼玉 (32)、宮崎 (21)、群馬 (17)、千葉 (11)、茨城 (7)、高知 (6)	・埼玉産は、最近の低温などの影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。宮崎産も、少なめの出荷になっているものの、今後は、県内の産地の出荷が出揃い、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、平年より少なめの出荷となっている。	
		284.72	242	443	284.72	535	・入荷見込量: 890t (95) ・主産地: 宮崎 (51)、高知 (17)、大阪 (9)	・埼玉産及び群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	トマト (大玉) 	315.83	309	384	315.83	387	・入荷見込量: 4,770t (100) ・主産地: 熊本 (37)、愛知 (19)、千葉 (14)、茨城 (7)、静岡 (4)	・熊本産は、最近の気温の低下で、少なめの出荷となっているものの、今後は、出荷量が増加し平年並みの出荷となる見込み。愛知産及び千葉産は、最近の気温の低下により着色が遅れ、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。	
		337.88	371	369	337.88	394	・入荷見込量: 960t (110) ・主産地: 熊本 (47)、愛知 (10)、岐阜 (7)、徳島 (7)、福岡 (6)	・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	なす 	301	242	381	301	429	・入荷見込量: 2,310t (97) ・主産地: 高知 (56)、福岡 (16)、栃木 (9)、群馬 (3)	・高知産は、最近の曇天の影響で少なめの出荷となっており、今後も引き続き少なめの出荷の見込み。福岡産も、少なめの出荷となっているものの、今後は本格的な出荷時期を迎え、出荷量が増加する見込み。	
		263.21	225	331	263.21	401	・入荷見込量: 470t (100) ・主産地: 高知 (38)、熊本 (21)、福岡 (15)、岡山 (10)	・高知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	ピーマン 	263.58	365	326	344.39	525	・入荷見込量: 1,920(100) ・主産地: 茨城 (61)、宮崎 (19)、高知 (9)	・茨城産は、最近の曇天の影響で生育が遅れ少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。宮崎産は、夏の高湿の影響による花落ちと最近の曇天の影響で少なめの出荷だが、今後は生育が回復し、出荷量が増加する見込み。	
		282.16	329	341	353.61	500	・入荷見込量: 360t (95) ・主産地: 宮崎 (58)、高知 (21)、鹿児島 (10)	・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	根 菜	だいこん 	64.33	84	105	64.33	86	・入荷見込量: 12,750t (99) ・主産地: 千葉 (66)、神奈川 (17)	・千葉産は、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。神奈川産も、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。
			76.48	95	119	76.48	106	・入荷見込量: 3,500t (105) ・主産地: 長崎 (20)、和歌山 (14)、鹿児島 (12)、徳島 (10)、北海道 (8)、石川 (8)、千葉 (7)、熊本 (7)	・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		にんじん 	123.08	112	117	100.82	130	・入荷見込量: 7,610t (98) ・主産地: 千葉 (41)、北海道 (39)、輸入 (2)	・北海道産の出荷は上旬で終了。千葉産は、夏場の高温と生育時の少雨で作柄不良がみられたところに、台風の冠水の影響もあり、平年より少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。
	123.11		112	121	104.49	134	・入荷見込量: 2,500t (90) ・主産地: 北海道 (52)、長崎 (40)、鳥取 (8)	・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	

種類	10月の価格情報				11月の価格情報		生育及び価格の11月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	生育及び価格の11月の見通し	
		中旬	下旬				
いも	200.88	224	239	200.88	231	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：1,340t (99) ・主産地：埼玉 (54)、千葉 (15)、栃木 (4)、輸入 (4) ・埼玉産は、順調な生育で、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、夏場の高温少雨と台風の影響により小玉傾向で少なめであったが、生育が回復傾向となり、今後は出荷量が増加する見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 	
	207.2	261	295	207.2	264		
	88.17	104	97	88.17	97		
ばれいしょ	88.17	97	97	88.17	96	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量：8,150 (99) ・主産地：北海道 (96) ・北海道産は、収穫が終了。地域により作柄に違いはあるが、全体では最も出荷の多い十勝が良かったことから、平年並み若しくは平年をやや上回る見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 	
	88.17	97	97	88.17	96		

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)								主要野菜の小売価格(東京都区部) (単位：円/kg)					
	過去5か年平均		平成24年		平成25年				キャベツ		レタス			
	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	前年比	購入金額 (円)	前年比	過去5か年平均	平成25年	5か年比 (%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比 (%)
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101	1,669	102	187	203	109	579	904	156
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101	1,652	95	203	204	100	555	722	130
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108	1,769	96	207	181	88	512	434	85
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	5,019	109	1,809	95	248	207	83	466	426	91
5月	5,055	1,905	4,945	1,948	5,257	106	1,861	96	175	133	76	369	318	86
6月	5,048	1,881	5,103	1,875	5,249	103	1,897	101	140	137	98	338	274	81
7月	4,421	1,691	4,386	1,675	4,456	102	1,783	106	149	173	116	308	385	125
8月	4,318	1,689	4,245	1,618	4,422	104	1,741	108	138	140	101	414	371	90
9月	4,839	1,783	4,916	1,703	4,577	93	1,863	109	142	160	113	526	461	88
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0		0	150	169	113	467	405	87
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0		0	155		0	385		0
12月	5,140	1,837	5,169	1,888		0		0	148		0	495		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」注：1 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。2 平成25年10月の値は、10月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量 (単位：トン、%)								主な野菜の輸入数量 (単位：トン、%)				
	平成23年		平成24年		平成25年1～9月		平成25年9月		品目	輸入先	平成24年10月(A)	平成25年10月(B)	(B)/(A)
	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比									
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	618,094	83	62,406	113	たまねぎ	合計	26,379	37,481	142
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	1,377,752	98	137,961	100		中国	22,758	29,267	129
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	1,995,847	93	200,367	104		アメリカ	3,597	8,203	228
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	1,008,435	93	111,747	106	にんじん	合計	7,421	7,198	97
中国産シェア	52		51		51		56			中国	7,279	7,113	98
										オーストラリア	108	49	45
									ねぎ	合計	5,076	5,006	99
										中国	5,066	4,989	98

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成25年10月は、速報値。

4 トピック — はくさいの需給動向 —

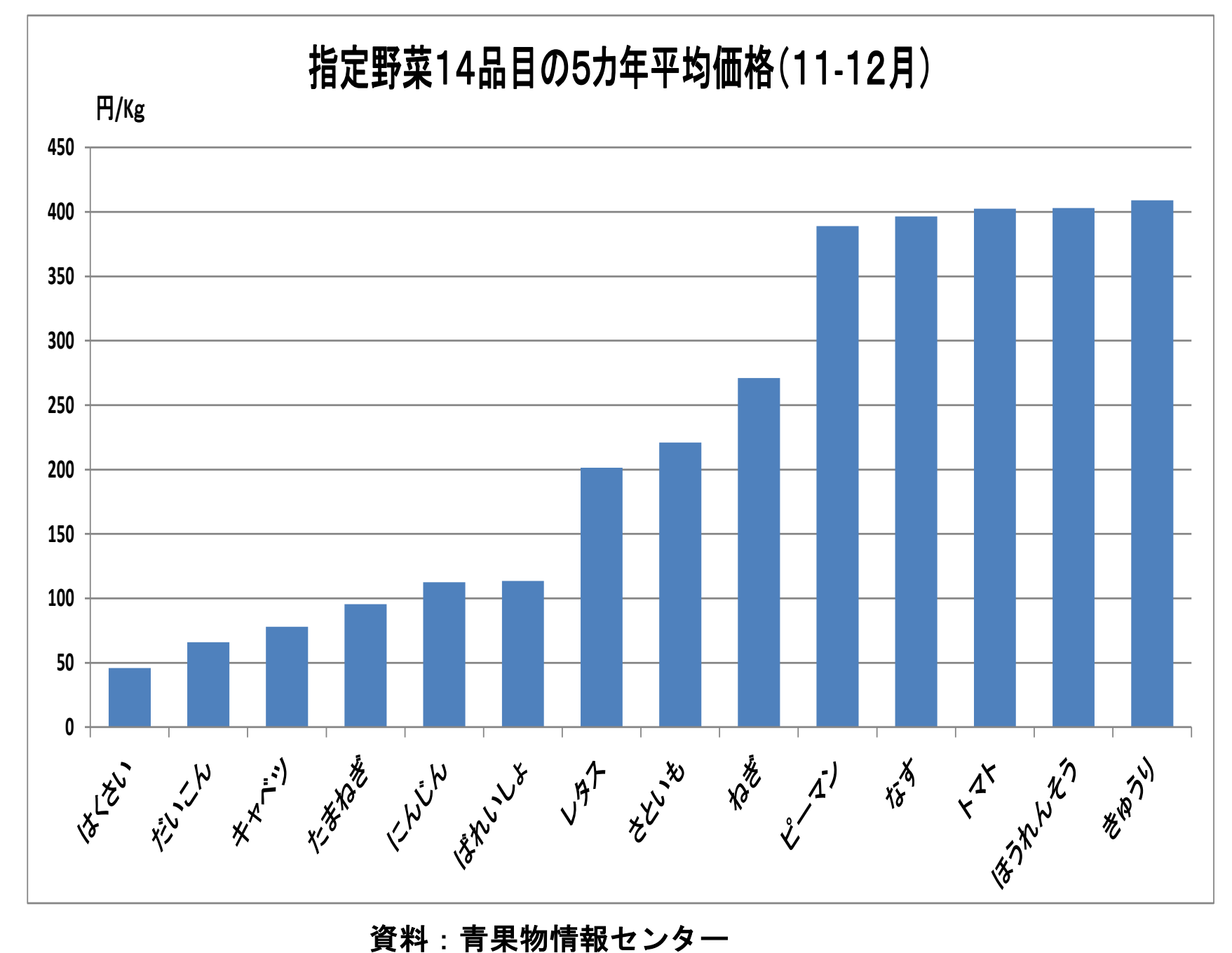
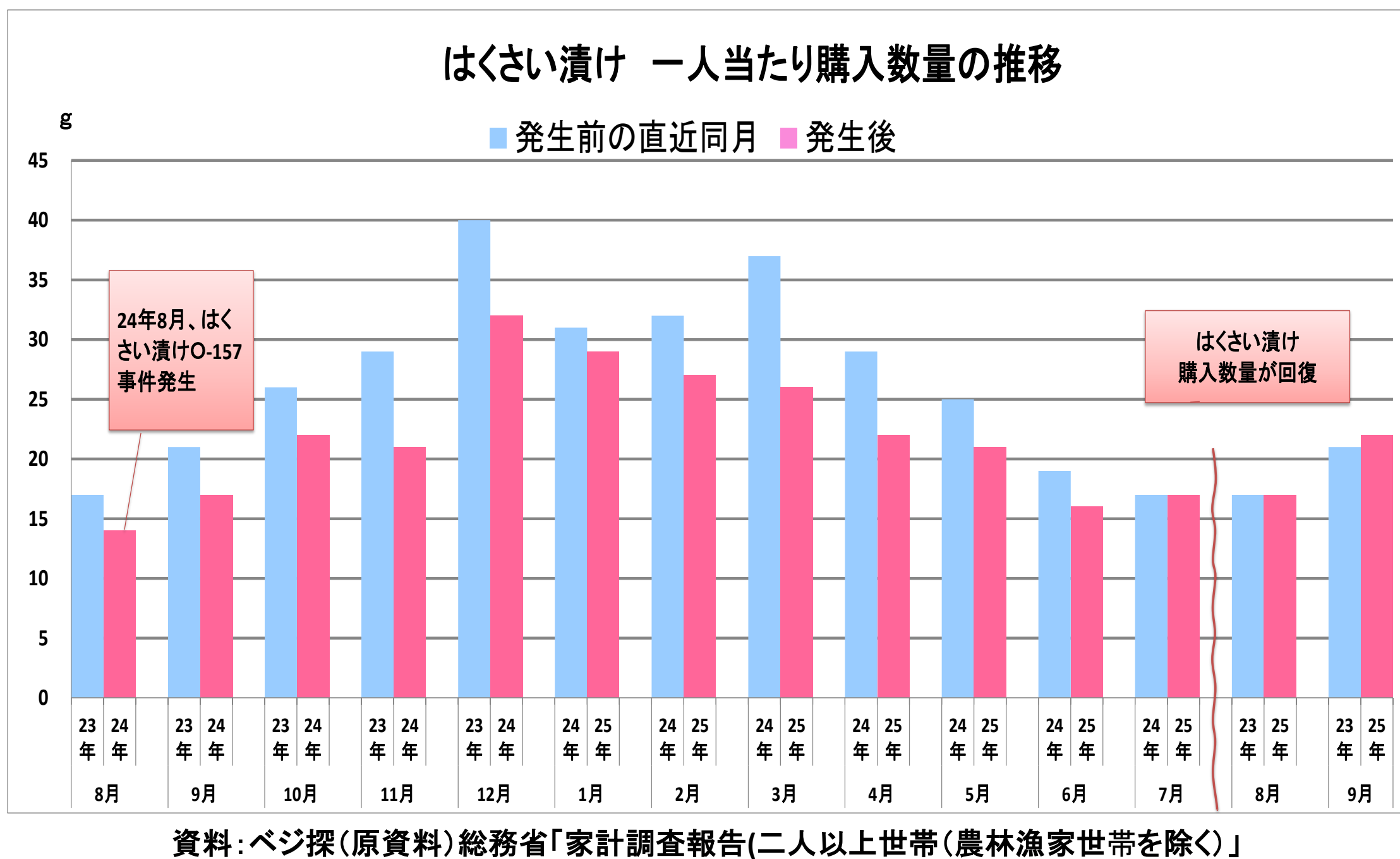
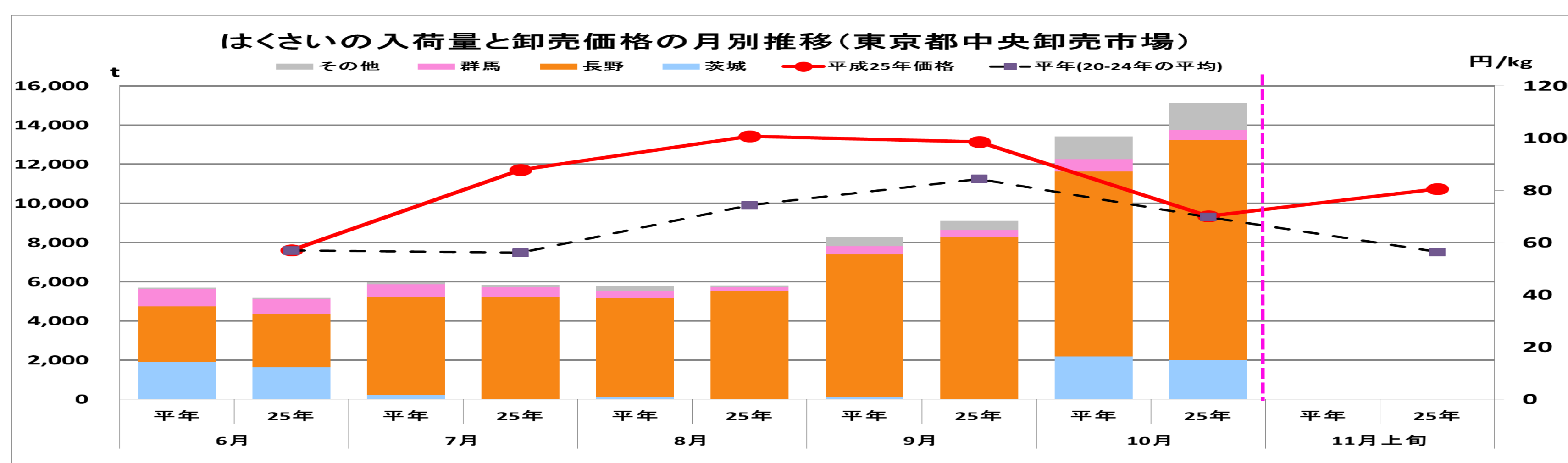
11月中旬以降、北日本を中心に積雪が既に見られるなど、冬本番を迎えるなかで、これから需要が高まる野菜がはくさいである。そこで、今回は、最近のはくさいの需給動向を紹介する。

はくさいの卸売市場での動きをみると、入荷量は、6月は平年を下回り、7～8月はほぼ平年並み、9～10月は平年を上回って推移している。一方、価格は、概ね平年を上回って推移している。

夏ははくさいの主産地である長野産等では、5～6月の生育期の少雨の影響を受け、小玉傾向であったこと等から、生産量は平年を下回るとみられるものの、市場への入荷量はほぼ平年並みである。この動きの違いに関しては、昨年夏の腸管出血性大腸菌O-157の食中毒事件の発生に伴い、はくさい漬物の消費が減少するなかで、漬物業者が産地との契約数を減らしたため、産地から市場への出荷の動きが強まったことも影響していると思われる。また、入荷量がやや増加するなかで、卸売価格が平年を上回って推移している要因としては、はくさいの漬物需要の回復に伴い、卸売市場からの原料調達動きも影響していると思われる。

実際に、はくさい漬けの家計消費量は、昨年8月の事件以降、減少傾向で推移していたが、今年7月以降は事件発生前の水準への回復傾向がみられる。

はくさいの出荷は、台風の影響により生育の遅れや病害の発生も一部主産地でみられ、平年より少なめの出荷となっているが、12月以降は出荷量の回復が見込まれている。はくさいは、指定野菜の中で重量当たりの単価も低く、今後、本格的な寒さの訪れとともに、鍋物向け食材などとして需要が高まることから、安定的な生産・出荷が期待されている。



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、齋藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。□

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。